岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業
Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization through New Human Resources Education Programs

「吉備の杜」
創造戦略プロジェクト

「未来型思考×地域力」を付加した雑草型人材育成

予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有し、
高い専門性と幅広い人間力に立脚した
「雑草型人材」＝「地域創生を担うたくましい人材」を育てる。

夢とロマンを持って育てよう「吉備の杜」～雑草型人材育成を目指して～

プロジェクト推進本部長
岡山県立大学学長
沖　陽子

2021年４月より「吉備の杜」創造戦略プロジェクト（COC+R）が始動しました。本プロジェクトは、学部１～３年次生に「岡山創生学課程」、３～４年次生に「吉備の杜クリエイター課程」、大学院生に「吉備の杜プロデューサー課程」を設け、３つの課程からなる副専攻「吉備の杜」として位置づけ、学部から大学院まで一貫した社会連携教育が学べる地方創生人材教育プログラムです。

目指す人材は持続可能な地域の未来を展望し、ヒューマンスキルと即戦力を身に付けた雑草型リーダー。雑草型人材とは雑草魂のみならず、雑草のごとく変化する環境への柔軟さと適応力を持ち合わせた人材です。このプログラムを受講することにより高い専門性と幅広い人間力が備わる人材が輩出され、若者の地元定着と地域の活性化に繋がります。

本プロジェクトの特長は、岡山県の産業特性と本学の学部・大学院構成にマッチした「サテライトプログラム」を用意し、大学、地域、企業が合体して課題解決型の演習を中心に進めていくこと。加えて、異分野の学外非常勤講師を迎えてリベラルアーツ教育を行う「研究科クロスセクション」を導入したことです。2023年度より、創造的思考力養成、課題解決力養成、スキル養成等の13科目を充実させました。学生達と学外の方々との出会いの場として人気が高く、社会人受講生が増えています。リカレント教育にも寄与しています。

本プロジェクトに賛同して頂ける大学・企業・団体にご参入頂き、ご一緒に吉備の杜を豊かな杜に育てて頂くことを期待します。

“集えし！ ピンチをチャンスとして受け止める「発想の転換」が出来る若者よ。そして自ら考え行動することにわくわくする「主体性と行動力」を持つ若者よ”

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトとは

企業×地域×大学の合体教育による雑草型人材育成

「県内産業発展に寄与できる人材」を出口（就職先企業）と一体になって育成するプログラムを構築します。

予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した『雑草型リーダー』を育成することにより「高い専門性と幅広い人間力に立脚した地方創生を担うたくましい人材」を輩出します。

事業の概要

事業目標	**食と栄養と健康を温め羅ねる杜**（サテライトプログラム） 「おかやま」の食資源を活用した食品の生産・加工・流通を通して、広く地域社会、国際社会で活躍できる食のスペシャリストの育成 **地域のICT技術を温め羅ねる杜**（サテライトプログラム） 持続可能な地域「おかやま」の産業拡大に、安全・安心な知能化をもって寄与できる技術者の育成 **森と建築と匠を温め羅ねる杜**（サテライトプログラム） 日本でも有数の木材産地「おかやま」の風土を活かして、心地良い住環境を生み出す能力を持つ設計者の育成 **研究科クロスセクション**（大学院研究科横断型プログラム） リベラルアーツ教育を行う研究科共通基盤科目で、業種の枠を超えた産業人材として必要な能力を育む
期待される効果	●予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した雑草型リーダーを育成 ●「高い専門性と幅広い人間力に立脚した地方創生を担う逞しい人材」を輩出 ●大学群、地方公共団体、企業等が連携・協働し、地域が必要とする産業人材を業界と一体となって教育し、「大学生や社会人の地元就職促進」に努め、「地域活性化」につなげる

── 温め羅（つら）ねる ──　「吉備の杜」と「温羅」

古代、岡山県を中心とする地域は「吉備」と呼ばれており、異国から渡来してきた温羅（うら）がたたら製鉄や造船・製塩の技術を伝えたことによって繁栄に導いたとされています。そのことから温羅は吉備地方の統治者であったと伝えられています。

そして、時空を超えて、この地に緑豊かなキャンパスを営む私たちは、岡山を支え、地域に必要とされる中核人材を本事業により養成したいとの思いから、本事業を「吉備の杜」創造戦略プロジェクトと命名し、温羅の名にあやかって各教育プログラムを「温め羅ねる（あたためつらねる）」ことにより、急速に変化する時代に対応できる人材を養成することとしました。

副専攻
「吉備の杜」を理解する

副専攻制度

主専攻の専門教育以外の分野の知識や考え方を学ぶことで、専門教育を補完するだけでなく、大学での修学意識がより高められる制度です。
ここでは、学部・学科・研究科、そして学内外の枠を超えた、地域・企業と協働した学びの中で、社会や環境の様々な変化に対応できる力を身に付けます。

吉備の国、「おかやま」を舞台に
主体的に学びを深める

【称号】 創造戦略プロデューサー

創造戦略プロジェクト ＜食＞

創造戦略プロジェクト ＜ICT＞

創造戦略プロジェクト ＜森と木＞

研究科クロスセクション

創造的思考力養成	課題解決力養成	スキル養成
●知の理論 ●地域経済をテリトーリオから考える（旧：地域社会とビジネス） ●テクノロジーとビジネスの変革 ●デザイン思考	●時事と歴史を読む ●サステイナブルな社会に生きる ●ローカル・イノベーション（旧：地域資源学） ●高等教育を基盤とした社会人基礎力養成 ●災害医療援助論 ●災害医療援助論演習	●データアナリティクス（旧：データサイエンス） ●アカデミック・プレゼンテーション演習 ●アカデミック･ライティング演習

吉備の杜プロデューサー課程
［博士前期・修士課程］
“現場で即戦力となるリーダーへ”

【称号】 地域創生クリエイター

未来型プロジェクト ＜食＞

専門基礎科目
- フードビジネス学
- チームガバナビリティ演習
- 地域保健福祉演習

食と栄養と健康を温め羅ねる杜

未来型プロジェクト ＜ICT＞

専門基礎科目
- 組込みシステム
- 技術者と社会
- セキュリティ総論
- 知的制御システム

地域のICT技術を温め羅ねる杜

未来型プロジェクト ＜森と木＞

専門基礎科目
- 森林生態学・地盤工学
- 森林・木材学演習
- 木構造学・木構造デザイン
- 環境デザイン演習

森と建築と匠を温め羅ねる杜

吉備の杜クリエイター課程
［3～4年次］
“地域の未来を展望できる人材へ”

【称号】 地域創生推進士

課題発見と解決力の養成

協働とコミュニケーション

知る・見る・体験する

岡山創生学課程
［1～3年次］
“地域で活躍できる人材へ”

プロジェクトを通じた成長

- 未来型思考と地域力を有したリーダーシップ
- 地域を知り特徴を活かせる“創造者”
- 自ら考えて行動する高い人間力
- 企業×地域×大学の連携と活性化
- スペシャリストとしての高い専門性

食と栄養と健康を温め羅ねる杜

農業県である岡山県の政策では、農林水産業における６次産業化の推進が重要視されています。食を資源や生態系の一部として理解し、生物資源の開発、人の健康を支える環境や社会の仕組みが必要です。その中で、食料自給率向上や地域の活性化に基づく産地消の推進や、地域の食文化の継承に配慮した安全・安心で持続可能な食を考究し、人々の栄養と健康維持・増進の観点から地域社会及び国際社会で活躍できる人材の輩出を目指します。

地域のICT技術を温め羅ねる杜

吉備地方伝承の鬼「温羅（うら）」は、製鉄や造船など当時の最先端技術を異国からもたらし、この地の発展に貢献したとも伝えられています。これにならい、「地域のICT技術を温め羅ねる杜」では、学生が、実際の現場で起きている技術課題の要因を把握し、県内企業の第一線で活躍しているICT技術者との協働の下、解決方法の企画・提案などを通じて、柔軟な思考を持ち、地域創生を担う次世代技術者の輩出を目指します。

森と建築と匠を温め羅ねる杜

岡山県は、日本有数の豊富な森林資源に恵まれ、岡山藩の新田開発・水利事業・日本最古の庶民の学校である閑谷学校などに見られる構築技術の中に、これからの時代を乗り切るための指標となる環境技術を有しています。この恵まれた環境下、学生と県内の企業との協働で、新たな環境技術およびデザインの創出に取り組み、自然に対する豊かな感性と地域資源を活かす技術力・デザイン力を持つ人材の輩出を目指します。

研究科クロスセクション

本質を見極め、自ら考え、自ら行動できる人材養成（＝リベラルアーツ教育）が非常に重要と考えます。リベラルアーツ教育として、研究科クロスセクション科目で、業種の枠を超えた産業人材として必要な能力を育み、また、専門も枠に囚われることなく、地域で必要とされるヒューマンスキルの獲得を目指します。

また、人生100年時代においては、教育、雇用、退職後という伝統的な３ステージの人生モデルから、マルチステージのモデルに変化しています。その背景から、多様なニーズに対応して、この研究科クロスセクションは、社会人の学び直し、いわゆる「リカレント教育プログラム」としての機能を持ちます。時間の配慮を目的にオンデマンドサイトを開設し、授業動画の配信による受講方法を採用しています。「リカレント教育」の場として、学問の質を担保し、効率的な学び直しの機会を提供します。

「吉備の杜」で○○を学ぶリカレント教育

◆ 履修条件　下記の自治体、企業・団体及び団体の会員企業に所属している正規・非正規を問わない職員または社員

自治体（順不同）
岡山県、真庭市、総社市、備前市、赤磐市、笠岡市、津山市、玉野市、井原市、瀬戸内市

企業・団体（順不同）
㈱山陽新聞社、RSK山陽放送㈱、岡山県立大学協力会、岡山県食品新技術応用研究会、生活協同組合おかやまコープ、（一社）システムエンジニアリング岡山、（一社）岡山県建築士事務所協会、㈱中国銀行、㈱トマト銀行、岡山県中小企業家同友会、（公財）岡山県産業振興財団、岡山県経済団体連絡協議会（加盟している（一社）岡山県商工会議所連合会：各商工会議所を含む、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会：各商工会を含む、岡山県経営者協会、（一社）岡山経済同友会）

研究科クロスセクション科目は令和５年度から変わりました！

◆ 研究科クロスセクション科目（旧大学院クロスセクション科目）
＜令和５年度開講科目一覧＞

創造的思考力養成	課題解決力養成	スキル養成
●知の理論 ●地域経済をテリトーリオから考える（旧：地域社会とビジネス） ●テクノロジーとビジネスの変革 ●デザイン思考	●時事と歴史を読む ●サステイナブルな社会に生きる ●ローカル･イノベーション（旧：地域資源学） ●若手企業人材における各種実践能力の養成 ●災害医療援助論 ●災害医療援助論演習	●データアナリティクス（旧：データサイエンス） ●アカデミック・プレゼンテーション演習 ●アカデミック・ライティング演習

未来型プロジェクト・創造戦略プロジェクトについて

教育カリキュラムとして学部４年生と大学院生を対象とした、企業とのPBL※演習です

プロジェクト内容
企業がかかえる“実際の課題”を解決するために、若手の社員と学生・大学院生がチームを構成し、協働する実践的な演習です。（企業幹部と大学教員がサポート）※PBL：問題解決型学習・課題解決型学習

対象となる学生は？
- **未来型プロジェクト**　：学部４年生
- **創造戦略プロジェクト**：博士前期課程・修士課程１・２年次生

演習期間は？
- **未来型プロジェクト**：10日程度企業で演習+10日程度学内で演習
- **創造戦略プロジェクト**：20日程度企業で演習

費用は？
- 学生の受け入れに係る企業側の費用負担はありません。（賃金・交通費・昼食代・宿泊代等一切不要）
- 学生は傷害・賠償責任保険に加入します。

課題例
- 地元産の有機野菜を活用した新しい機能性表示食品
- コロナ禍に対応した非接触型の精算機の開発
- 建築プロジェクトのコンペに応募する設計案

Point
- 若者視点の新たな気づき
- 企業と大学との連携強化・共同研究への発展
- 企業のPR・学生による企業のイメージアップ
- 学生指導を通じた企業内の活性化
- 早期離職・雇用ミスマッチの防止

予定スケジュール

1月～3月	4月～5月	5月～7月	7月～10月	11月
テーマの募集	学生とのマッチング	プロジェクトの設計	プロジェクトの実施	成果報告
未来型・創造戦略プロジェクトのテーマを募集	募集したテーマをもとに学生とのマッチングを実施	演習期間や完了要件等の検討・設計	設定したゴールに向けて、プロジェクトを遂行	成果報告会を開催

実施体制

本事業を円滑に推進するための実施体制として、県内３大学、岡山県など10自治体及び県内の12企業等の事業協働機関による「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップを設置し、産学官が一体となってプロジェクトに取り組んでいます。

当メンバーシップは最高意思決定機関で、その中に最も重要な活動と位置付けられる「教育プログラム構築」に関する審議機関となる「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会、及び外部者による本事業の評価を行う「吉備の杜」創造戦略プロジェクト外部評価委員会を設置し、継続性の高いPDCAサイクルを実施しています。

さらに、岡山県立大学内に「吉備の杜」創造戦略プロジェクト推進本部を設置し、事業の実施に関する学内の意思決定を担い、具体的な企画立案等を担う「吉備の杜」創造戦略プロジェクト企画委員会、事業の全体調整・総合窓口等を行う「吉備の杜」推進室を設置し、岡山県立大学が本事業の代表として事業を推進します。

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ

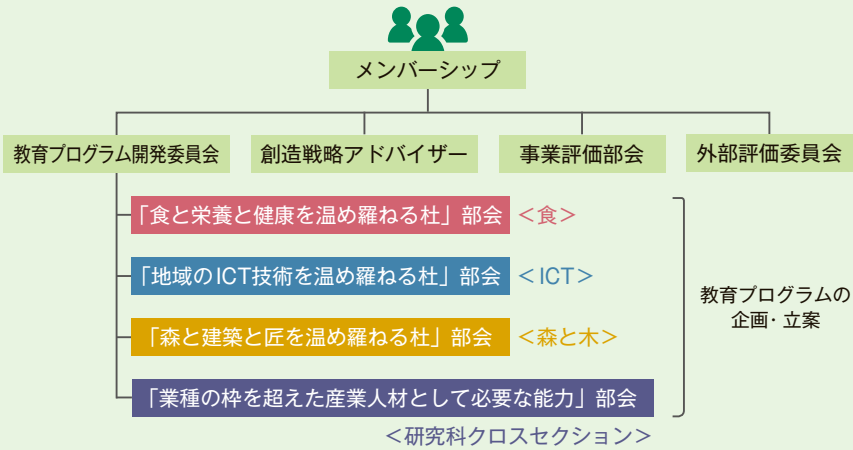
大　学	岡山県立大学・ノートルダム清心女子大学・中国学園大学
自治体	岡山県・真庭市・総社市・備前市・赤磐市・笠岡市・津山市・玉野市・井原市・瀬戸内市
企業等	中国銀行・山陽新聞社・RSK山陽放送・おかやまコープ・岡山県立大学協力会・岡山県食品新技術応用研究会・システムエンジニアリング岡山・岡山県建築士事務所協会・岡山県経済団体連絡協議会・トマト銀行・岡山県中小企業家同友会・岡山県産業振興財団

（順不同）

メンバーシップの体制・役割

役　割

1. 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトの実施方針・事業計画の策定に関すること。
2. 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトの実績の自己評価に関すること。
3. 事業協働機関間の調整に関すること。
4. その他「吉備の杜」創造戦略プロジェクトに関し、必要な業務



「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会

業種ごとに必要とされる能力と、業種の枠を超えた産業人材として必要な能力に分けて４つの部会を設け、教育プログラムの開発について協議する。

PBL演習受入先募集中！

未来型プロジェクト、創造戦略プロジェクト〈PBL〉を受け入れてくださる企業を募集しています。
詳細について、ご興味がありましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

岡山県立大学「吉備の杜」推進室　＜TEL：0866-94-2205　E-mail：kibinomori@oka-pu.ac.jp＞

「吉備の杜」公式HP　Facebook　Instagram

KIBINOMORI.OPU

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業
Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization through New Human Resources Education Programs

文部科学省が取り組む事業で、地域の知の拠点としての大学が、他の大学等や地方公共団体、地域の企業等と協働し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口（就職先）と一体となった教育プログラムを実施することで、学生の地元定着と地域活性化を推進します。信州大学、徳島大学、山梨県立大学、岡山県立大学の４大学が選定されました。